

委員会だより

重点活動テーマの活動について

生活・福祉委員会

委員会として、重点活動テーマである「地域包括ケアシステムの構築に向けて」住み慣れたまちで自分らしい暮らしを続けるために」について活動を進めています。

7月18日から21日にかけて、次の2市1町の先進的な取り組みについて学んできました。

静岡県掛川市では、在宅医療、在宅介護、生活支援を総合的に支援する地域拠点である「ふくしあ」を訪問しました。山梨県北杜市では通所型予防サービスによる拠点づくりと、配食・見守りを中心とした生活支援サービスについて説明を受けました。埼玉県小鹿野町では、国保町立小鹿野中央病院を核とした医療機関との連携を柱とした取り組みについて学んできました。



この視察内容を基に、7・8月に議会サポートや登録市地域包括支援センターあおいとの意見交換や特別養護老人ホームわかくさを視察し、今後の委員会活動に向け、委員の理解を深めました。
(村井)

登別市上下水道事業について

観光・経済委員会

6月15日に、公営企業アドバイザーの山田祥夫氏を議会専門的サポーターとして招き、登別市上下水道会計の仕組みと、本市の上下水道事業の現状、本事業会計の特徴について学びました。

概要として、下水道事業は各年度とも利益を確保できるが4年ごこの見直しが必要であること、上水道事業の経営状況の見直しについては、人口減少に伴う収益の減少などにより平成32年以降は赤字経営に転化することが示され、その対策が急務であるとの共通認識を持つことができました。

また、7月11日には、担当部職員とともに幌別浄水場、千歳浄水場、登別漁港内に建設中の製氷施設の現地視察を行いました。

幌別浄水場の配水区は幌別地区全域にわたり、供用開始は昭和37年で50年以上経過しており、老朽化が進んでいます。



市民のライフラインの要である上水道の整備は喫緊の課題であり、市政運営に関する諸問題においても優先順位を上げて取り組まなくてはならないと再認識しました。
(若木)

予算・決算議案に係る

審査指針を策定

予算・決算委員会

本委員会は、登別市議会基本条例を順守した審査が必要と考え、次の3点からなる「予算議案及び決算認定議案に係る審査指針」を策定しました。
①第2条「議会の活動原則」を踏まえ、行政が抱える問題・課題や議会が取り組んでいる状況などの情報提供をする過程で、市民の考えの把握など充実した調査活動を行い、政策や事業の論点および争点を明確にして審査する。②第4条「議員の活動原則」が求める研修への参加やその機会の拡充に取り組み、俯瞰的かつ大局的な視点や本質を見抜く洞察力を養うとともに、市民の政策要望の確かなそしゃくと理解を深めた上で、論理的思考により審査する。③第11条「政策形成情報の明示」の「政策の提案に至るまでの経緯」などの6つの政策形成情報は、最も重要な審査項目と位置づけられ、今後のまちの将来にもかわることから、



この6項目の基本審査項目に留意して審査する。
今後は、この審査指針の運用と第3条「委員会の原則」に基づいた委員会活動を取り組むことについてです。
(松山)